

救急医療に対する高い技術と志を持った、豊富なマンパワーを有します。

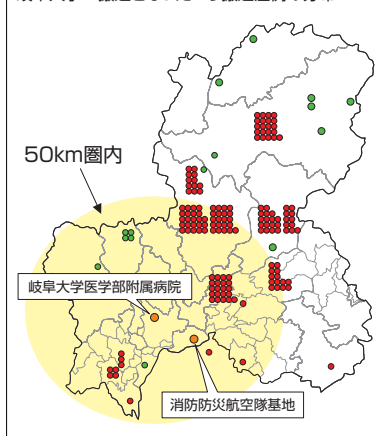
県下唯一の高度救命救急センターとして、最先端かつ的確な医療技術を提供します。

岐阜大学医学部附属病院には屋上ヘリポートがあります。

たとえば救急医療の要請があると、医師がここからヘリ（ドクターカーの場合もあり）で現場へ向かい、機内で治療を続けながら当センターへ。到着と同時に手術室に搬送し、直ちに緊急手術ができるシステムが整っています。ヘリで搬送しなければ救命できなかった患者が命を取りとめ、社会復帰している例も少なくありません。

緊急性の高い重症患者をより早く搬送し的確な治療を提供することは、救命救急センターにおける最重要課題のひとつ。その意味で、岐阜大学医学部附属病院と岐阜県が展開している岐阜型ドクターヘリ事業は、患者搬送時間の短縮と遠隔地の重症患者の救命率の向上に大きく貢献しているといえるでしょう。

岐阜大学へ搬送となったヘリ搬送症例の分布



特色

診療形態

原則として、センター専従の医師が初期治療から、手術、ICU管理まで行っています。医師は二交代制を採用し過重な労働を避けていますが、夜勤帯や休日でも常時5名以上のスタッフが対応し、常に万全の体制を整えています。



地域医療ならびに消防との連携

岐阜県全域からの救急患者の受け入れを積極的に行い、広域救急搬送体制の構築にも取り組んでいます。

また、岐阜市消防本部との協定によりワークステーション方式を取り入れて救急隊員の教育を行っており、病院前救護体制、県内のメディカルコントロール体制の中心的存在ともなっています。



災害医療

災害医療にも積極的に取り組んでおり、DMAT（災害医療支援チーム）としての活動のみならず、MIMMS (Major Incident Medical Management and Support) コースを受講させるなど、災害医療に係る国際的な知識を習得させる教育も行っています。



Off the job training

医局ではさまざまなコースを主催・企画し、教育に関してもこの地方の指導的役割を果たしています。

- ICLSコース (Immediate Cardiac Life Support)
- ICLS指導者養成ワークショップ
- ISLSコース (脳卒中初期診療 Immediate Stroke Life Support)
- 人工呼吸セミナー
- JPTEC (Japan Prehospital Trauma Evaluation and care)
- JATEC (Japan Advanced Trauma Evaluation and Care)
- MIMMS (Major Incident Medical Management and Support)
- T&Aコース
- AHAコース

